



豊橋市のウォーキングイベントに協力したメンバー

ACCOMPANY

学生

地域貢献事業

第16回

豊橋市と知立市にフィールドを持ち、2つの市の魅力発信に取り組んできた。2011年から活動を始め、10年以上が経過する。知立市では、名物の「大あん巻き」で知られる藤田屋とコラボレーションし、新しい味を

開発したり、市制50周年の「知立散策マップ」を制作したりするなど活発な活動を展開してきた。クーポン付きの散策マップには、学生が若者目線でピックアップした11スポットが紹介され、テーマに合わせてまちを歩けるように工夫されている。

豊橋市では、路面電車をテーマにした「路面deエコトコMAP」と、中心市街地の52店舗を紹介する「豊橋まちなかお店マップ」を製作。「まちなかお店マップ」は、中心市街地で働く869人にお勧めの店を聞いて独自に取材したもので、グルメから雑貨、ファッションまでさまざまな店舗が豊富な写真と共に紹介されている。

近年は、SDGs（持続可能な開発目標）に取り組み、2022年に常滑市で行われた「SDGs AICHI EXPO2022」に参加し、コーヒー豆を使った消臭剤をPRした。「知立市内の『0566コーヒー製作所』と連携して開発した。食品を活用しているので、食器棚でも安心して利

豊橋市と知立市の魅力発信



コーヒー豆の消臭剤を製作

用できる」とメンバーは話す。豊橋市では、バスの利用を促進するための「バスマップ」を製作。バス路線沿線にある15店舗ほどを紹介するマップだ。「若い人にバスに乗ってお店を訪れてほしい。ロードサイド店の活性化につながれば」と期待する。

23年度は、外国籍市民の支援を視野に入れて活動する予定だという。外国籍市民の多いエリアという特色に着目し、多文化共生の可能性を探る。「地震や台風などの災害時に安心して連携できる環境づくりに取り組みたい。外国籍の市民も、一般市民も、ともに安心して暮らせるまちをつくりたい」と意気込む。

結成12年目。東西三河を代表する2つの都市を、若い力で活性化していく。

※協力・愛知大学 (大林恭子)